

テスト設計コンテスト OPEN クラス - ア

※全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

書類選考対象地域 - 岩手

チーム ID

S260702001

チーム名

Team やま

チーム紹介

- ・自社でシステム開発を行っている会社内にて、「自社製品の品質担保となる検査業務」を普段行っている部門のメンバーで構成されています。 比較的に歴の浅いメンバーを中心に参加しており、メンバー全員が今回初参加となります。
- ・普段の業務として行っているテスト設計や検討・分析といった作業の内容が、一般的なテスト設計スキルと比べたときにどういった違いがあるのかを理解し、この活動を通じてその知見を深めたい、という目的をもって参加しました。
- ・本コンテストへの活動を通じて、メンバー全員が新しい知見や観点などの刺激を受け、日常作業にフィードバックできるように真剣に取り組んでいきます。

コンセプト

- ・参加したメンバーそれぞれに役割を分担して【複数の視点】から、想定されるリスクや影響範囲の検討を行うことによって、テスト実施すべき内容を網羅的に洗い出しを行った
 - ⇒ 別々の切り口から分析を行うことによって、様々なケースを想定した抜け漏れの少ないテスト設計を行う

工夫点

- ・ JSTQB 関連の資料を読み合わせて網羅すべき観点を抑えつつ、社内で現在運用しているフォーマットを活用して資料を作成
 - ⇒これにより下記の利点があると考える
 - [1]. 現在日常的に使用している資料だと、どういった観点が不足しているのかを活動を通じて意識できる
 - [2]. JSTQB 資料内の観点に加えて、「自分たちのやり方」という別の観点も入ることでテストケースの網羅性が上がる
 - [3]. 成果物を極力普段のフォーマットに近づけることで、作業者が成果物の記載イメージがしやすくなり作業時間が短縮できる
- ・全体の大枠となる最終成果物のイメージをチーム内ですり合わせた上で、各成果物の作成作業を分担して並行で作成を進め、限られた期間の中でより多くの作業を進められるように意識した
- ・下記の取り組みを行い、提供されたドキュメント内に記載がない観点に対する想定を膨らませたテスト設計を行った
 - ISO/IEC 25010 の枠組みをベースにした「品質特性表」を作成し、それらの観点から修正内容を評価しテスト設計に反映
 - ドキュメント内容からユースケースを書き出し、本対応にかかわる「アクター/システム/運用想定 等」の状態を洗い出し
 - リスク分析・評価も行い、明示されていない想定に対しての確認観点の検討